

保護者の皆様

仙台市立高砂小学校

校長 早坂 敦哉

GIGA スクール構想への取り組みについて

師走の慌ただしい季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、昨年末からニュースなどでも取り上げられている GIGA スクール構想についての本校の取り組みについて、お知らせいたします。

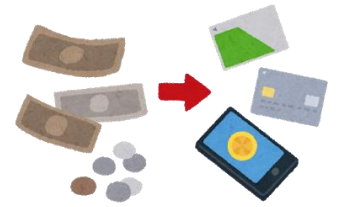
1 GIGA スクール構想について

まず、GIGA スクール構想とは、「1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する(令和2年7月、文部科学省)」という計画です。

なぜ、GIGA スクール構想が必要かという点、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新しい社会である超スマート社会『Society 5.0』がやってきているからです。この『Society 5.0』時代では、人々の働き方や暮らし方が大きく変わっていきます。



例えば、「銀行からお金を下ろす」ということで考えてみると、昭和の頃は、お金を下ろすためには、窓口に行く必要がありました。平成になると ATM が広まり、銀行に行かなくても街角でお金を下ろすことができるようになり、大変便利になりました。しかし、これからキャッシュレス払いが広まってくることで、わざわざ現金で支払うためにお金を下ろすという行為すら必要がなくなってきているのです。



このように、これまで当たり前だったものが、新しい形になってくるのが『Society 5.0』の社会です。そういった社会に対応できる児童・生徒を育成するために、日本中の小・中学生全員が使えるように1人1台の端末とクラウドにアクセスするための高速大容量の通信ネットワークを使える環境整備を行っています。

2 仙台市の対応

仙台市でも GIGA スクール構想に対応するために、市内の小中学校に学校の備品として、合計 64,220 台の端末(Chromebook)と各教室にアクセスポイントの整備、ネットワーク回線の増強工事が決定しています。また、全ての児童生徒一人一人に中学校卒業まで利用する Google のアカウントが配付されます。この Google のアカウントは、教育用クラウド(G Suite for Education)を使用するためです。

運用方法については、今のところは学校での保管ということになっています。

3 高砂小学校の対応

本校では、来年1月中旬からネットワークの増強工事^{*1}、アクセスポイントの設置が始まり、2月上旬に端末の整備、設定(今年度中に約350台、来年度中に不足分+予備機が追加配当予定)が完了します。充電保管庫は教室前のホールに設置します。

既に、本校では、オンラインドリルの活用やプログラミングの授業なども始めています。職員についても G Suite for Education の使い方などについての研修を始めています。今後、職員が実際に導入された機器を利用して、どのように授業で活用していくかなどといった研修を行い、2月下旬～3月上旬ぐらいから授業での使用が始まっていく予定です。

これからの学校生活は、児童が登校したら、充電保管庫から取り出し、机の中(または机の横)にしまっておき、必要な時に取り出して学習し、下校時に再び充電保管庫に戻して、翌日のための充電をしておくというイメージになっていきます。



^{*1}当初、11月までにネットワークの増強工事が終わる予定だったので、Zoom を使ったオンラインでの授業参観を計画していました。しかし、工事時期がずれたため、授業参観については、また改めてお知らせをさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。